

「令和7年度大津市保健所運営協議会」の会議結果

- 1 開催日時 令和7年11月11日 火曜日
午後2時00分から午後3時00分まで
- 2 開催方法 会場（大津市保健所1階大会議室）
- 3 出席者 委員 8人
会場 赤羽委員、内田委員、大森委員、柘口委員、小谷委員、
谷川委員、近棟委員、八木委員
(欠席委員 河南委員、福田委員)
- 事務局 17人
中村保健所長、古川保健所次長、白須保健総務課長、龍池地域医療政策
課長、服部衛生課長、畠先動物愛護センター所長、井上保健予防課長、
中江健康推進課長、片岡保健総務課長補佐、平田地域保健推進室次長、
池永衛生課長補佐、西田動物愛護センター主査、山田保健予防課長補佐、
木本健康推進課長補佐、清水保健総務課係長、戸倉保健総務課主査、高
田保健総務課主事
- 4 議題 (1) 大津市保健所事業について
(2) 第4期大津市保健医療基本計画策定専門部会の結果報告
(3) 大津市保健医療基本計画専門部会及び健康おおつ21・大津市食
育推進計画専門部会の設置について
- 5 会議概要
(1) 開会
(2) 所長挨拶
(3) 委員、事務局紹介
(4) 会長、副会長の選出
(5) 議事（概要は以下のとおりです。）
- | | |
|-----|--|
| 事務局 | 議事1、大津市保健所事業について、各所属から資料1に基づいて説明。 |
| 議長 | 質疑応答がなかったため、議事2に進行。 |
| 事務局 | 議事2、第4期大津市保健医療基本計画策定専門部会の結果報告について、事
務局から資料2に基づいて説明。 |

八木委員	今の説明で、過去1年間に歯科検診を受診した人の割合が31.4%。それを48%にするという目標であるが、評価指標に歯周病検診受診率の目標を記載する予定はあるのか。
事務局	今のところ予定はない。
事務局	議事3、大津市保健医療基本計画専門部会及び健康おおつ21・大津市食育推進計画専門部会の設置について、資料3に基づいて説明。
議長	質疑応答はなし。会議全体の質問があればどうぞ。
八木委員	もうすでに北海道では鳥インフルエンザが、発生したというニュースがあったが、大津市内で鳥インフルエンザが発生するような施設はあるのか。もし発生した場合は保健所が対応されるのか。
事務局	大津市内にも数か所、養鶏場がある。基本的に鳥インフルエンザが発生した場合、県が対応することになっている。県が養鶏場の鳥を殺処分することが想定されるので、そこには県の職員が、防護服を着て、現場で作業に従事するということになる。保健所の職員は、従事される方の健康観察ということで、業務に当たることになっている。保健所以外の部局も、産業観光部の農林水産課が主導し、大津市内で発生した養鶏場の周囲の立ち入り制限や、その地域、その現場の消毒に当たったりする。
柏口委員	本協議会の内容とは異なるかもしれないが、本年度、国スポ・障スポの方が滋賀県で開催され、大津市保健所でも対応されたと思うが、総括的な部分をお聞かせ願いたい。
事務局	保健所としては、競技会場や大会関係者の宿泊施設に関する防疫であったり、食品衛生、生活衛生の分野で、参画をさせていただいた。また、両陛下を初め、皇族の方も何回か宿泊された。関連施設の監視や関連事業者に対する講習会などの対応をさせていただいたところであるが、衛生面で申し上げれば、滋賀県全体として、特に問題なく終えられたということで、滋賀県からも報告いただいている。
	また、救護所の開設をしており、市の保健師が担当したが、競技の特性に応じて、医師会の医師、また、歯科医師会の歯科医師をはじめ、適切に対処いただいた、無事大きな問題なく終えることができた。ありがとうございました。

赤羽委員	<p>質問が2点あり、1点目は、オーバードーズ（以下「OD」という。）で2点目は緊急避妊薬についてである。ODの問題は今、とても重要視されているかと思うが、最近でも頻回受診による頻回投薬、向精神薬の頻回投薬という事例が発覚している。マイナンバーカードの連携で、頻回受診による頻回投薬が発覚するケースが出てくると同時に、そういうことをされる方は、連携をされないとかいうこともあるが、保健所として、精神保健の観点からもそういった取り組みをされてたりするのか。2点目の緊急避妊薬については、この秋からOTCが販売する予定である。その中には、犯罪や虐待があったりすることと、その方が心に傷を負われる、精神保健の観点であったり、妊娠が進んでからの中絶を防ぐという意味でも、母子保健に該当するかと思うが、現状としてはどういった取り組みを考えておられるか、お伺いしたい。</p>
事務局	<p>まず1点目の頻回受診、向精神薬の頻回投薬について、薬剤師会から、情報提供を受けたところである。その際に、お願いしたのが、向精神薬については、麻薬及び向精神薬取締法で規制され、こちらの所管は、滋賀県で対応している状況である。薬剤師会様には滋賀県にも、情報提供等をお願いしたい。聞くところによると、県も、これをもとに関係機関へ働きかけをしたということを聞いている。県では向精神薬に関する対応として、過去にも医療機関向けの周知などをされたと聞いているので、今回の事案を見て、適切に対応がなされると思っているところである。また医療機関への周知の面で、大津市保健所から支援できるところがあれば、県と協力してやっていきたいと思っている。緊急避妊薬については、母子保健に関わるところであるというふうに認識しており、母子保健課につきましては、このたびの組織再編で、部局が子ども未来部に移管された。この場でお答えすることはできないが、女性の健康の大切さを啓発するためのプレコンセプションケアという事業を実施している。その中で、女性の一生の間に、健康が非常に大切な問題であり、子供を産み育てるといったことを考えて、普段から、飲酒、その他の生活習慣に気をつけるという啓発を行っている中で、こういったことも啓発していく。</p>
赤羽委員	<p>女性が自分の課題について、自分が決める権利があるということを基本に教育をしていただけたらと思うことと、1点目のODのことで先日、松本俊彦先生の講演をお伺いしたときに、相談ができるように育っていくという教育をしていただけれども、効果が上がっていないと、相談を受ける側、教育、相談してもらったときに、どういう対応が望ましいかということを教育していく必要があるというお話をあったので、薬物乱用防止教室などで、そういった啓発をしていっていただけたらと思っている。</p>
事務局	<p>先ほどの薬物乱用防止教室ということで、啓発については、保健所としても、市</p>

	民に対して、ホームページや、広報おおつにおいて啓発活動を継続していきたいと考えている。
議長	私から3点ほど質問がある。まず1つ、市立大津市民病院の支援事業のところであるが、地域密着型急性期病院という位置付けということで、在宅医療も含めて、慢性疾患に関しての対応も、在宅を中心に、市立大津市病院もぜひ参画していただきたいというのが1つ。それから、保健予防課のところで、HPVワクチンに関して、男性への接種に関しては、どのようにお考えかという点が1つ。最後に、検診について、前立腺癌検診はいかに進めていく予定があるのかという、この3点をお願いします。
事務局	<p>市立大津市民病院の運営については、皆様方もご承知いただいておりますとおり、市民に安心で安全な医療を提供することや地域の2次医療として、入院加療等の急性期医療をしっかりと担うこと、そして地域の先生方と一緒に連携をとって、患者を支えていくということであると認識しております。しかしながら、そのリソースをどのように配分するかについては、市立大津市民病院の中でしっかりと検討されていく内容でありますので、医師会、歯科医師会の皆様方をはじめ地域の皆様方からの期待に沿うような形に体制が整えば、そういったこともしっかりと検討いただけるように我々としても支援したいと思っております。ただ、現時点としては、地域のニーズにどういったものがあるのかを踏まえながら、市民病院としてできる範囲で着実に進めていければと考えております。</p> <p>2点目のHPVワクチンの男性の投与については、現在、国では議論が進められており、一定有効という評価はされつつあるが、費用対効果の面で課題があるという議論をされている。引き続き、国の動向、知見を注視して参りたい。</p> <p>3点目の前立腺癌検診の件に関して、現在、大津市では対策型検診を実施するということで、現在5癌の検診を行っている。前立腺癌検診については対策型検診には当てはまらないため、まずは、対策型検診をしっかりと進めていくという方向で考えている。ただ、検診という形ではないが、国民健康保険加入の50代の方を対象に、特定健診と一緒に受けられるということを、今現在は実施しています。</p>
議長	今の3つのお答えはもっともあるが、大津市が他の自治体と比べて魅力的な自治体になるためには、やはり横並びではなく、人口が減少するフェーズであるため、より魅力的な市をつくるために、もう一段進んで対応していただけることが、望ましいのかなと私は個人的に考えている。
内田委員	健康推進事業で、健康推進員が地域に根差した活動をしているところではあるが、すこやか相談所の方々とともに事業をすることによって、地域の方一人ひとり、身近に寄り添った健康についてのお話ができるかと思っている。一緒に活動

ができることによって、地域住民の方が健康になられると思うので、ぜひ一緒に
お願いしたい。

事務局 すこやか相談所の保健活動の中に、地域での健康教育がある。なかなか市単独では、地域の中に入って事業を進めるということが難しいということで、できるだけ地域の団体、或いは外部の力を借りて、どんどん地域に入って、事業を進めていきたいと思っているので、今後とも、健康推進連絡協議会の皆様とともに、事業の推進を図って参りたい。教室等のご要望があれば、遠慮なく申し出ていただきたい。

議長 本日、委員から出された意見を受け止めていただき、地域の保健行政にご尽力いただければと思います。

（6）閉会